

株式会社スーパーホテル

全国にビジネスホテルを展開するチェーン。本社は大阪市で、ホテル業界で唯一環境大臣より「エコ・ファースト企業」として認定を受けている。創業以来「Natural, Organic, Smart」をコンセプトに地球と人に優しいホテル運営を推進。2043年度までのカーボンニュートラル実現を目標に掲げ、積極的なCO₂排出削減策を展開している。

【会社概要】

※2025年3月時点

会社名 | 株式会社スーパーホテル
本社所在地 | 大阪府大阪市西区西本町1-7-7

事業内容 | ホテルチェーンの展開、
土地有効活用のコンサルティング
従業員数 | 199名



『脱炭素経営を実践している事例紹介』

『「CO₂実質ゼロ泊」の導入（宿泊時排出ゼロの実現）』

「環境保全活動は地球だけでなく人も元気にする」という気付きから、2001年頃から全社的に環境活動への取組を開始していて、2010年からは、宿泊に伴うCO₂排出量を100%カーボン・オフセット※1する「ECO泊」を公式予約を対象に開始しました。宿泊時に排出されたCO₂相当量を当社がオフセットする仕組みで、国内大規模ホテルチェーン初の試み（自社調べ）であり、2024年10月からは全宿泊を対象とし、「CO₂実質ゼロ泊」と進化しています。同時に全国のホテルで非化石証書を活用した実質CO₂フリー電力への切替も進めていて、これらにより年間約24,000トンのCO₂削減を見込んでいます。※1Scope1・2におけるCO₂実質ゼロ

温室効果ガス排出量の可視化が社内の環境保護意識向上に貢献

脱炭素化の取組の一環として、2017年に「株式会社ウェイストボックス」と連携し、CO₂排出量の可視化を始めました。主な用途として、定期的に観測する指標として活用して日々削減に取り組むという点に加え、可視化した数値を社内での環境保護意識の共有にも利用しています。様々な環境貢献の取組を推進する社内意識の醸成においても、可視化ツールは一つの役割を果たしています。今後、さらに拡大・推進する具体的な取組としては、非化石証書の活用やScope3まで算出・可視化することによる排出量削減を検討しています。サステナビリティや地域貢献などに関心の高い社員の教育・実務での活躍や、お客様へのお声がけ等を通じて取組をさらに推進していきます。

大阪市のフードドライブへの参加等、日々の取組で「サステナホテル」を推進

企業のビジョンとして「サステナホテル」を掲げて、気候変動や持続可能な地域づくりなどの世界的な課題に対し、これまで以上に積極的に取り組みを推進しています。

その一環として、「スーパーホテルなんば・日本橋」では、海外のお客様が多く、自国から持ち込まれたお菓子などを廃棄されることもあるため、大阪市のフードドライブ*に参加し、食品ロス削減に取り組んでいます。

*食品ロスを削減するために家庭で余った食品を回収して、福祉団体や生活支援を必要とする個人等に無償譲渡する取組
また、2024年2月にリニューアルオープンした「湯元「花乃井」スーパーホテル大阪天然温泉」は、1階ロビーに大阪府内産のヒノキ材を使った木のフレームを設置、内装を木質化に取り組んでいます。大阪府が認定したCO₂森林吸収量・木材固定量認証制度第8号にも認証されました。

その他、環境大臣認定のエコファースト企業を対象としたイベントにおける環境問題に取り組む事業者の事例紹介・意見交換を通じた情報収集や、新入社員に対して実施する環境教育の研修、ECO検定など、将来的・持続的な環境への貢献を見据えた日々の活動も推進しています。

